

わかさ 議会だより

緑と清流のまち

第165号

平成30年

11
月号

WAKASA TOWN

メダルをめざして!



議会事務局のアドレスへ

まけるもんか

- P2~3 29年度決算 主な事業
- P4 決算審査特別委員会
- P5 決算審査意見
- P6~7 審議結果・討論
- P8~11 一般質問Q&A
- P12 30年度補正予算 主な事業
- P13 調査研究報告(教育民生常任委員会)
- P14~15 各常任委員会報告
- P16 わたしの想い(張さん)

わかさこども園運動会

町をめざして!!

認定



防災無線室

災害対策事業
総額 1億6504万円

防災行政無線デジタル化に向け改修工事を行った
(うち 1億4753万円)

一般会計

歳入 36億9278万円

歳出 34億4558万円

実質収支額 2億1925万円の黒字

※翌年度へ繰り越す財源を除く



若桜町商工会

商工振興事業
総額 5306万円

プレミアム商品券を発行した
(うち 643万円)



中学校棟エアコン

若桜学園管理費
総額 3709万円

中学校棟へのエアコン設置を行った
(うち 1085万円)

平成29年度 決算

くらしやすい



若葉団地町営住宅

町営住宅管理事業
総額 1億4085万円

2棟4戸を建替により環境改善を図った
(うち 1億2567万円)



中原バス停

バス運行事業
総額 3087万円

新たに中原バス停を建設した
(うち 150万円)

主
事

特|別|会|計|

事業名	歳入	歳出	一般会計 からの繰入金
国民健康保険	5億649万円	4億7117万円	3945万円
介護保険	5億9114万円	5億6596万円	7885万円
後期高齢者医療保険	5442万円	5441万円	2102万円
簡易水道	2億5802万円	2億5802万円	2624万円
公共下水道	2億217万円	2億217万円	8324万円
農業集落排水	6945万円	6945万円	6009万円
赤松団地造成	50万円	50万円	11万円
財産区造林	649万円	649万円	なし
索道	8123万円	7935万円	なし
住宅新築資金等貸付	84万円	84万円	なし



わかさこども園

わかさこども園
総額 2523万円

調理室等増築工事に係る設計委託料
(うち 572万円)

決算審査特別委員会

平成29年度決算認定

委員長 青木一憲 副委員長 山根政彦

審査の経過 及び結果

9月10日の本会議において、決算審査特別委員会に付託された案件を審査するため、会期中の13日～20日に当委員会を開催し、執行部の出席を求め、慎重に審査を行いました。

委員会に付託された議案は、主なる意見と監査委員審査意見を重く受け止め、行財政の改革に努められることを指摘し、認定すべきものと決定しました。



決算審査の様子

主なる意見（抜粋）

一般会計

○迎賓館管理運営事業

利用については、将来を見据え、町の考え方を整理し、充実した施設になるよう検討されたい。



若桜迎賓館

○観光事業

様々な団体に、補助金が交付されている。町に、どれだけの効果や成果が出ているのか検証したうえで、組織や事業の見直しなどを検討されたい。



若桜町観光協会

○地域福祉センター管理事業

指定管理先の経営状況をしっかり把握されるなど、適切な指導・監督に努められたい。



地域福祉センター・ドリーミー

監査委員

決算審査意見 (要約)

監査委員 藤原 重明

監査委員 山本 安雄

8月21日～28日まで決算審査を行い、平成29年度各会計歳入歳出決算書、事項別明細書及び実質収支に関する調書の計数と歳入歳出整理簿等関係諸帳簿・証書類を照合した結果、重要な点において適正に表示されているものと認めた。

会計における残高は、預け入れ金融機関の預貯金残高等と符合しており、適正であると認めた。また、基金に関する調書の計数並びに土地開発基金の運用については、平成28年度の取り崩し額が平成29年度に同額で組み戻しされており、適正であると認めた。

留

意、検討事項

一般会計

(1) 財政運営の指標について

財政関係指標等の数値は、**経常収支比率84.0%→84.9% (0.9ポイント上昇)**と、やや硬直化した。これは、物件費及び維持補修費並びに公債費の増加が主な要因となっている。指針となる70%に向けた改善努力が望まれる。

区 分		数 値	
		平成28年度末	平成29年度末
経常収支比率		84.0%	84.9%
実質公債費比率(単年度値)		6.8%	6.6%
実質公債費比率(3年間の平均値)		6.1%	6.3%
地方債残高		49億3328万円	51億9642万円
内 訳	一般会計	31億8785万円	33億4629万円
	簡易水道事業会計	3億5460万円	4億6790万円
	公共下水道事業会計	7億5677万円	7億2896万円
	農業集落排水事業会計	5億6640万円	5億2098万円
	赤松団地造成事業会計	667万円	629万円
	索道事業会計	6100万円	1億2600万円
基金残高		22億5386万円	22億4751万円

(2) 資産台帳について

公会計導入による財務4表等の公表もあり、各財産の管理や資本関係に基づく外部関係団体との連結決算も視野に、今まで以上に適時適切に管理することが求められている。上記の事務に適合した財務会計規則の見直しを同時に行われたい。

また、若桜鉄道に関する財産についても町有財産として速やかに整備されたい。

(3) 各種税と使用料等の債権管理について

町税ほか各種保険料の現年度分の収納率は、すべて99.7%以上で、滞納繰越分を含めても97.5%以上となっており、県内トップクラスを維持している。

また、収入未済額については、回収努力、時効中断、不納欠損も含めて法に基づいた適正・効率的な滞納整理事務を行われたい。

※その他、氷ノ山における賃貸借契約の締結、交際費、地籍調査、管理委託業務、特産品開発支援事業補助金、国の重要伝統的建造物群保存地区の指定事業、町誌編纂事業についての意見も出された。



まとめ

平成29年度一般会計の決算額は、歳入歳出差引残額2億4719万円で、繰越財源を控除した実質収支は2億1925万円の黒字決算となっている。

また、特別会計(10会計)の実質収支額では、7会計が一般会計から繰り入れを受けた結果である。

財政運営の判断指標数値は大きな変動なく推移しているが、人口減少が更に進むことが予想され、税収も減少傾向にある中で水道設備の更新・統合や公営住宅の建替え、道路維持管理等のインフラ整備が実施されるほか、財政的に決して余裕があるとは言えない。限られた財源のなかで、合理的且つ効果的な行政運営が行われるよう期待している。

一目でわかる 審議結果

第5回議会臨時会 7月17日

その他	工事請負契約の締結について 工 事 名 わかさこども園調理室増築及び内部改修工事 契約の相手方 株式会社藤原組 契 約 金 額 1億314万円	可決
	工事請負契約の変更契約の締結について 工 事 名 わかさ氷ノ山スキー場管理棟等改築工事 契約の相手方 こおげ建設株式会社 契 約 金 額 変更前 1億5411万6000円 変更後 1億6450万5600円	可決

第6回議会臨時会 8月8日

補正予算	平成30年度若桜町一般会計補正予算（第4号） 2億9734万円を追加し、歳入歳出予算をそれぞれ、41億2430万円とした。	可決
	平成30年度若桜町簡易水道事業特別会計補正予算（第3号） 149万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ、2億9万円とした。	可決
その他	工事請負契約の締結について 工 事 名 若桜処理区機械設備更新工事（H30） 契約の相手方 三機環境サービス株式会社大阪営業所 契 約 金 額 7236万円	可決
	損害賠償の額を定めることについて 7月豪雨時、町道のコンクリート製床版が、路面よりも高い位置に押し上げられ、走行中の車両に損傷を与えたため。	可決

第7回議会定例会 9月10日～21日

決算	平成29年度若桜町一般会計歳入歳出決算の認定について	認定
	平成29年度若桜町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	平成29年度若桜町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	平成29年度若桜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	平成29年度若桜町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	平成29年度若桜町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	平成29年度若桜町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	平成29年度若桜町赤松団地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	平成29年度若桜町財産区造林事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	平成29年度若桜町索道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	平成29年度若桜町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
補正予算	平成30年度若桜町一般会計補正予算（第5号） 2億7420万円を追加し、歳入歳出予算をそれぞれ、43億9850万円とした。	可決
	平成30年度若桜町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号） 5742万円を追加し、歳入歳出予算をそれぞれ、4億6035万円とした。	可決
	平成30年度若桜町介護保険事業特別会計補正予算（第2号） 2749万円を追加し、歳入歳出予算をそれぞれ、6億8759万円とした。	可決
	平成30年度若桜町索道事業特別会計補正予算（第2号） 203万円を追加し、歳入歳出予算をそれぞれ、2975万円とした。	可決
その他	町長の専決処分事項の指定について 町の義務に属する損害賠償を速やかに行えるようにするため、町長において専決できる事項を指定するもの。	可決
	若桜町農業委員会の委員の任命について 若桜町農業委員会委員に、盛田敬一さんを任命するもの。	同意

条例	若桜町索道事業の設置等に関する条例の一部改正について スキー場リフトの午前券利用者が増えているため、利用者の利便性を考慮し、午前券の時間を1時間延長する。それに伴い午前券を改定し、午後券と料金を統一するため、条例の一部を改正するもの。		可決
	砂防ダム設置に関する陳情書 屋堂羅の千代川水系上神護谷川、神護谷川、大畑谷川、大石谷川への砂防ダム設置について。		委員会審査結果 採択
請願・陳情	林道開設加速に関する陳情書 屋堂羅カアヶ谷經由諸鹿屋堂羅線林道開設加速について。		委員会審査結果 採択
	町道宮前橋、宮ノ下橋橋梁の段差に関する陳情書 宮前橋、宮ノ下橋と町道との接続部分の段差解消について。		委員会審査結果 採択
	浄善寺及びその周辺谷川に関する陳情書 浄善寺上方、その周辺谷川水路からの、土砂流出防止対策及び砂防ダム設置について。		委員会審査結果 採択
	町営林道、舗装面陥没に関する陳情書 林道の舗装面が集中豪雨により陥没、車両走行不能のため早期復旧について。		委員会審査結果 採択
	沖縄県による「辺野古沿岸埋め立て承認撤回の意志」を尊重するよう日本政府に求める意見書提出についての請願 「辺野古沿岸埋め立て承認撤回の意志」を尊重するよう国に求めるもの。		委員会審査結果 不採択

討論

賛否の分かれた議案

決算

氏 名	梶原 明	君野 弘明	青木 一憲	山根 政彦	山本 安雄	小林 誠	山本 晴隆	中尾 理明	前住 孝行	結 果
平成29年度若桜町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定

原案反対 中尾理明議員

解放同盟高野支部への補助金、163万円は認められません。高野支部へ補助金を交付する事は、町が任意の運動団体である支部活動を援助することに等しく、地域への特別法廃止後の法規範に反しているため、反対です。

請願

氏 名	梶原 明	君野 弘明	青木 一憲	山根 政彦	山本 安雄	小林 誠	山本 晴隆	中尾 理明	前住 孝行	結 果
沖縄県による「辺野古沿岸埋め立て承認撤回の意志」を尊重するよう日本政府に求める意見書提出についての請願	×	×	×	×	×	×	×	○	×	不採択

原案反対 前住孝行議員

日本防衛の拠点地として多大な負担をお願いしている沖縄県民の考えを示すことになる沖縄県知事選が9月30日に投票開票され、そこで民意が判明されます。その前に、このような意見書を出すことは、時期尚早であると考え、請願に対して反対します。

原案賛成 中尾理明議員

全土基地と言われる沖縄、基地強化を図る辺野古基地建設は絶対反対です。サンゴ礁群等の自然破壊を招き、軟弱な地盤、活断層の存在により、防災の足かせともなります。承認撤回を表明した沖縄県を強く支持し賛成します。



質問者

中尾 理明 議員
青木 一憲 議員
山本 安雄 議員
前住 孝行 議員

9月議会定例会の一般質問は、9月11日に行われ、4人の議員が町政の課題について質問しました。

質問の要旨と町長の答弁は、質問を行った議員が要約して掲載しています。

7月豪雨災害と防災対策

池田地区避難所の検討を

指定避難所を再検討する



中尾 理明 議員

利用されました。その経緯を伺います。

Q 昨年の議会報告会で、池田地区の集落の中から平成29年の4月

広報わかさ掲載の指定避難所9施設に池田地区がないとの意見を受け、執行部は旧池田小学校体育館が指定避難所と説明をしました。しかし、今回の災害では、町公民館池田分館が避難先と報道され、その後、旧池田小学校体育館も避難先として

A (町長) 町地域防災計画改正時は、池田地区避難所は旧池田小学校体育館でした。その後、アロイ工業開業を機に、避難所指定が解除となりました。今回、地元要望を受け、アロイ工業と協議、避難所とさせて頂きました。7月豪雨の際はテレビや電話等通信機器、エアコンのある池田分館を避難所としました。池田分館から、避難された方から近く

の川が増水、転



被災した林道

Q 平成24年の町防災

危険区域等町民向け防災の手引き改訂をマップ付手引き改訂を進める

石で怖い等の意見があり、不安解消のため体育館に20名の方が移動し、体育館は直接避難の方と合わせ65名となりました。今後地域のご意見を聞き、池田分館か体育館か旧池田小学校校舎も含め、指定避難所を再検討いたします。

計画改訂版に沿い、各自治会と確認できた避難先、土砂災害特別警戒区域も加え、平成23年に配布されたハザードマップ付き防災の手引き改訂版を作成すべきではないでしょうか。

A (町長) 前回配布から年月が経過しており、災害対策基本法改正や県等の災害関連データをもとに改定を検討します。ハザードマップも、記載内容を検討し、町民の皆様が見やすいものを配布できるように検討する。

給食費

子育て支援の為に完全無償化を現時点では考えていない

Q かつて、「少子高齢化で若い親子が安心して暮らせるように、学校給食をただにするべきだ」と言われ

た方の言葉を忘れません。町の積極施策で今は半額助成となつていきます。文部科学省の調査結果によると小学校、中学校とも無償化の自治体の数が76あり、中でも群馬県は、全国一の22・9%です。若桜町も無償化すべきときではないでしょうか。

A (教育長) 法律により、食材費は給食費、それ以外が公費負担です。平成25年度から給食費の半額助成を始めました。本町では子育て支援や若者の定住促進のため、こども園保育料の無償化など様々な子育て支援等に取り組んでおり、給食費無償化は、諸施策を総合的に判断し、取り組むことが必要であり、給食費無償化は現時点で考えていません。

Q 一般質問 A



青木 一憲 議員

交流人口

氷ノ山でスポーツ教室を

前向きに検討したい

Q 選挙の公約で氷ノ山リゾート、氷ノ山観光への思いや、6月の一般質問の答弁に「バレーボールなどスポーツの聖地となる取組をやっていききたい」と考えているとありましたが、具体的には、どう描いているのかお尋ねします。

A (町長) 氷ノ山は、

ウィンタースポーツだけでなく、年間を通して様々なスポーツを楽しめるエリアにしたいと考えています。

春や秋の閑散期に、氷ノ山に来ていただく仕掛けづくりが必要であり、そのためのひとつの方法として、スポーツを通じた集客への取組が必要ではないかと思っています。地元の関係者と協議



氷ノ山高原の宿「氷太くん」

しながら、氷ノ山で様々なスポーツが出来るよう、関係団体・機関に働き掛けながら、前向きに検討したいと思っています。

Q 若桜町が何かのスポーツ教室、合宿をしている町になれば交流人口も増加し、経済効果も生まれます。まずは、全日本クラスの選手に来ていただきスポーツ教室を開催してはと思いますが、所見を伺います。

A (町長) 全日本クラスの選手に来ていただき、スポーツ教室を開

催することは、まだまだ多くの課題もありますが、集客促進という点で考えれば、ひとつの良いアイデアではないかと思っています。合宿に來られる、大学や高校のクラブやサークルと連携をしながら、交流事業を開催していくことも、新たな交流が創出できると思っています。その取組も考えたいと思っています。

また、氷ノ山でのスポーツ教室などの開催については、閑散期の集客に必ず繋がるので、前向きに検討をしたいと思っています。

スキー振興

リフト券を試験的に無料にしては今シーズン、試験的に導入してみたい

Q 若桜学園の児童生徒に、スキーの楽しさをもっと実感してもらうために、現在のリ

フト券を、試験的に無料にしてはと思いますが、所見を伺います。

A (町長) 児童生徒の皆さんがスキーを楽しみ、スキーを通して若桜に愛着を感じてほしいと常々思っています。議員御提案のリフト券の無料化ですが、今シーズン、試験的に導入をしてみたいと考えています。そして、児童生徒や保護者の方が、本当に氷ノ山に対してどういう気持ちをお持ちなのか、スキーを楽しみたい気持ちはどうなのか、反応を探ってみたいと思っています。



わかさ樹氷スノーピア

質問 A

指定管理

公の施設の設置目的は、
達成したか

一定の評価はできる



山本 安雄 議員

Q 指定管理を指定した施設について、設置目的はどの程度達成されているかお尋ねします。

A (町長) 公の施設の設置目的は公共の利益のために多くの住民等に対して均等にサービスを提供することです。各施設とも設置目的に沿って有効活用され、一定の評価はできると

考えています。設置目的がさらに達成されるよう、管理監督責任を果していきます。

Q 指定管理によって、組織を運営圧迫していることはないですか。

A (町長) 運営に関しては、補助金等を支払っています。運営圧迫はないものと理解をしています。

Q 平成28年度観光開発事業団の納付金の内、約1300万円放棄。農林振興の赤字は1000万円の補助金として補填した。ところが、事業計画に大きな変化が見られない。今後、町として支援していく必要がある

と思う。町長のお考えを伺います。

A (町長) 株主総会でも、事業体質や体制の改善を求める意見があります。

若桜農林振興には、農業の担い手として、米生産やエゴマ搾油加工等に関わっていただくよう考えています。

両者とも、指定管理料の中で最大限の努力をしていただき、施設の設置目的を果たす上で必要が生じれば人材支援を含め、町の支援を検討する事も必要と思っています。



氷ノ山関連施設キャンプ場

公平性を欠かないか

誤解が無いよう検討

Q 指定管理者選定は、若桜町指定管理者選定委員会設置要項で、「委員長は町長、副委員長は、副町長及び教育長をもつて充てる」となっている。応募者の役員が選定委員であること。また、選考委員と同じ者から補助金や指定管理料が支払われることは不公平や誤解を招く可能性があると思います。考えを伺います。

A (町長) 町長は、若桜町観光開発事業団の評議員であり、また、若桜農林振興の取締役の職でした。応募団体の側の役員の職にあった者が、選考委員の職にあったということは、公平性に関して誤解を招く恐れがあったものと思われまふ。しかしながら審査に当たって

は、公平になされたこと認識しています。今後は、誤解を招く恐れが無いよう検討したいと思っています。

Q 指定管理者選定委員会設置要項には、「指定の取り消しまたは管理の業務の停止に関すること」とあるが、委員会はその指定管理に対して、その期間中、管理監督の立場にあるのか伺います。

A (町長) 選定委員会の立場としては、町長が指定管理者の指定の取り消しや業務の停止を行なう場合に、これに関する事項を審議し、取り消しや理由の妥当性を判断し、その結果を町長へ報告するものです。

町民や観光客の皆さんが使いやすいことが一番大切なことだと思います。絶えず注意し、協議をしながら使いやすい施設にしていきたいと思っています。



般



前住 孝行 議員

【A】（町長） 森林組合等

【Q】 来年4月1日には新たな森林経営管理システムが始まります。森林経営に適さない林地、適する林地と分けて対応する必要があります。若桜町の適する林地は全体の何割ぐらいか、また、その中で施業していない林地は何割ぐらいか、お尋ねします。

森林環境税

所有者不明林地への対応は
一定の手続きで市町村に経営管理権を移せる

【Q】 により森林経営計画が策定されている面積は、約3割の2149ヘクタール。残りの約7割については、森林経営計画が未策定となっております。これが新たな制度の対象となる区域と考えられます。

【A】（町長） 森林経営に適した森林、適さない森林の仕分けは来年度以降、新たな森林経営管理制度を進めていく中で、森林組合等の協力を得ながら、徐々に仕分けされていくと考えています。

【Q】 その適する林地で所有者不明林地の対応についてお尋ねします。

【A】（町長） 森林経営管理法によれば、一定の手続きを得ることで、経営管理権を市町村に移すことができると思っています。

【Q】 経営管理権の委託を「強制され、結局同意せんとはいけないのか」と心配されている方がいるようですが、そのことについてはどうでしょうか。

【A】（農林建設課参事） これまで、経営や管理をしてきた森林所有者から、森林を取り上げるということではありません。みずから経営や管理を行っていきたいという場合は、これまでどおり森林所有者の経営や管理ができるということです。

【Q】 森林環境贈与税の配分率も決まっています。都市部への配分もかな

りあるようです。都市部と連携した事業で植林などの体験活動をするようなことが考えられます。若桜町で、木で遊ぶ、森で遊ぶ活動を既にされている団体との連携も考えられますが、どうですか。

【A】（町長） 町内では、「若桜二ホンリスの森づくりプロジェクト」が、地元や鳥取市内の小学生を対象に、森林環境教育などの活動をされています。税の活用が可能であれば、「若桜木育の会」が大阪の木工体験教室や武蔵野市家族自然体験交流事業による、受け入れ家族と町民との交流、また、氷ノ山自然体験の事業など町民と都市部の方々が自然を通して交流できるよう進めたいと考えています。

【A】（町長） 防災無線と合わせてIP告知端末機での情報発信を行い、広く周知していきたいと考えています。

IP告知端末

避難情報も提供できないか
広く周知していきたい

【Q】 防災無線での迅速な情報提供と合わせてIP告知端末機でも視覚的にわかる情報も必要だと考えます。情報弱者にも平等な情報提供が必要だと考えます。情報が、どうでしょうか。

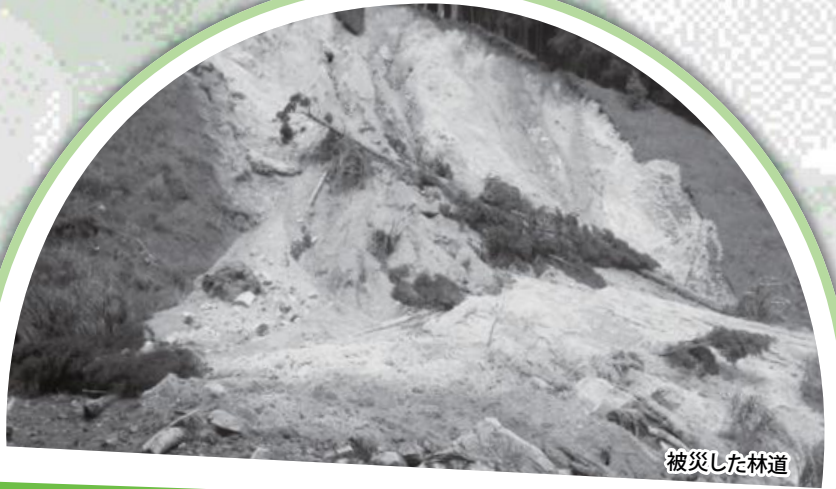
【A】（町長） 防災無線と合わせてIP告知端末機での情報発信を行い、広く周知していきたいと考えています。



リス森の展望台

9月定例会 平成30年度 一般会計補正予算 2億7420万円 増額

一般会計
総額
43億9850万円



被災した林道

林業用施設災害復旧費

7月豪雨により被災した林道施設の8路線19箇所
を復旧するもの

2億4680万円



木島邸

移住定住促進事業

木島邸雨漏修繕及び移住者新築等
事業補助金

209万円

主な 事業



委託予定のYASUさんと作品の一例

観光事業費

総額 103万円

絵本による地域活性化事業

54万円

特|別|会|計|

事業名	補正額	総額
国民健康保険	5742万円	4億6035万円
介護保険	2749万円	6億8759万円
索道	203万円	2975万円

調査研究 委員会報告

教育民生常任委員会

平成30年7月30日(月)
～ 31日(火)

調査地：徳島県勝浦郡上勝町

調査項目：中山間地域における持続可能な農業の取組について

参加者：委員4人、事務局長

調査内容

(1) 上勝町

徳島県南東部に位置し、人口1574名795世帯（平成29年7月1日）、面積109.63平方km、森林面積90%、高齢化率51.49%の町である。

(2) 株式会社いろどり

日本料理を美しく彩る季節の葉や花、山菜などの“つまもの”を、栽培・出荷・販売する農業ビジネス（葉っぱビジネス）のことで、ポイントは、商品が軽量・奇麗であり、女性や高齢者でも取組めることである。現在の年商は2億6000万円で、中には、年収1000万円を稼ぐ生産者もいる。また、それを支えるのは、「上勝情報ネットワーク」であり、毎日決まった数量を毎日出荷するのではなく、全国の市場情報の提供を受けながら出荷している。さらに、自分の売上が生産者のうち何番目の順位であるか分かる方法を取り入れるなど、農家の生産意識向上にも繋がっている。

まとめ

- 新しい地域資源を軸に地域ビジネスを展開し、農・工・商連携への取組を町ぐるみで行い、高齢者等が、労働による生きがいを見つけることにより、高齢者の介護予防や本町の活性化にも繋げる必要がある。
- 地域おこし協力隊の採用にあたっては、単に公募するだけでなく、将来の農業ビジョンを策定し、総務省が作成している名簿の中から、町の希望する職種に合致する人を選び、逆指名する方法も必要である。
- 生産法人を立ち上げ、核となる組織にし、市場情報を生産者に提供することで、栽培から出荷・販売までの総合農業ビジネスを確立する必要がある。



収穫の様子



上勝情報ネットワークの仕組み



説明の様子

報告（一部掲載）

総務産業常任委員会

所管施設の調査

にぎわい創出課

7月23日

迎賓館

【意見】

- ・更なる利用拡大を期待する。



迎賓館

高原の宿「氷太くん」

【意見】

- ・経営改善計画の速やかな実行を指摘した。
- ・安全な管理を期待する。



氷太くん裏庭の災害状況



(一財)観光開発事業団が管理している高原の宿「氷太くん」

総務課

7月23日

災害時に利用される施設（機能確認）



若桜町防災備蓄倉庫



災害直後の倉庫内

若桜町防災備蓄倉庫

【説明】

- ・災害発生時に必要な毛布や非常食等を保管している若桜町防災備蓄倉庫

非常電源装置

【説明】

- ・災害発生時に必要な非常電源装置と簡易トイレがあります。



非常電源装置のある道の駅



非常電源装置

委員会活動

教育民生常任委員会

農林建設課 5月23日

林業成長産業化地域創出モデル事業についての説明

「新たなスキーム」の下で意欲と能力のある経営体に森林の管理経営を集積・集約化することとし、木材を低コストで安定供給するための条件整備、木材産業の競争力強化、木材利用の拡大のための施設整備や実証など、川上から川下までの取組を総合的に推進するもの。



若桜木材協同組合

所管施設の調査

教育委員会事務局 7月11日



休校中の眷米分校

眷米分校

【意見】

- ・今後の使用については、集落としっかり協議をして進められたい。

(その他に、郷土文化の里・生涯学習情報館を視察しました。)

町民福祉課 7月11日

地域福祉センター・ドリーミー

【意見】

- ・ガラスのひび割れなど、放置されている。
指定管理料の中に修繕料も含まれている。
速やかに修繕されたい。

(その他に、ゆはら温泉ふれあいの湯・わかさこども園を視察しました。)



地域福祉センター・ドリーミー

農林建設課の施設調査も計画していましたが延期しました。

わたしの想い



「若桜町の魅力」

はりのりあき
張 紀章さん
(上 町)

今年の4月に若桜町に移住してきて、早くも半年が過ぎました。私が若桜町に住みたいと思うようになったきっかけは、大学生の時に会った若桜町の豊かな自然にあります。

私は以前、鳥取環境大学に在学しており、そのときに氷ノ山で活動するグループやスキー場の方々と知り合いました。もともとアウトドアが好きだったのですが、冬はスキー・スノーボード、夏は登山といったように、自然豊かな若桜町で様々な経験をさせてもらっているうちに自分も若桜町に住みたいと強く思うようになりました。

また、若桜町は豊かな自然だけではなく、そこに住む人たちにも大きな魅力があると移住してから感じるようになりました。以前は、移住するにあたって若桜町でうまくやっていけるだろうかと少し不安な気持ちもありました。しかし、優しく声をかけて頂いたり、地域のお祭りや運動会にも一緒に参加しやすいように配慮してくださったりと、地域に住む方たちの温かさのおかげで、以前のような心配は全く無くなりました。

私は移住してまだまだ日が浅いですが、今後は若桜町の一員として他の地域から移住してくる方を温かく迎えられるように地域に馴染んでいきたいと思っています。

表紙の写真をお寄せください

メール gikai@town.wakasa.tottori.jp

FAX 0858(82)2222

あとがき

この度は主に平成29年度決算の状況、平成30年度一般会計7月豪雨による災害復旧などを掲載しました。

皆様の生活に身近な内容となるように心がけました。今後も、分かりやすく伝える言葉で文章を表現したり、正確な情報を提供することが今後の課題と思っています。

皆様の感想や意見をお待ちしています。

(記 山本 安雄)

議会だより調査特別委員会

委員長 梶原 明

副委員長 君野 弘明

委員 山本 安雄

委員 青木 一憲

議長 長川 守